

資料編

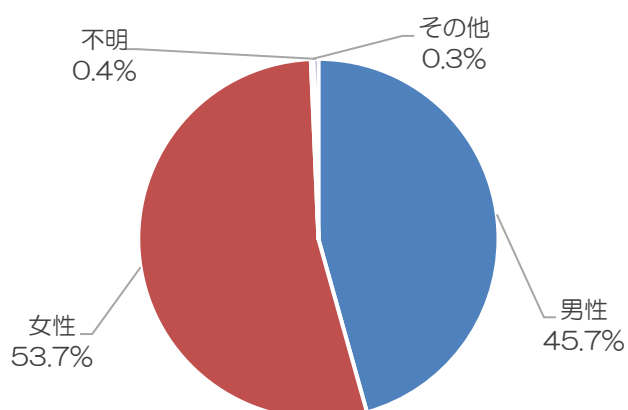
- 1 地域福祉に係るニーズ調査の結果
- 2 第4次上田市地域福祉計画の策定経過
- 3 第4次上田市地域福祉計画策定(参画)組織
- 4 用語解説

1 地域福祉に係るニーズ調査の結果

◆個人調査

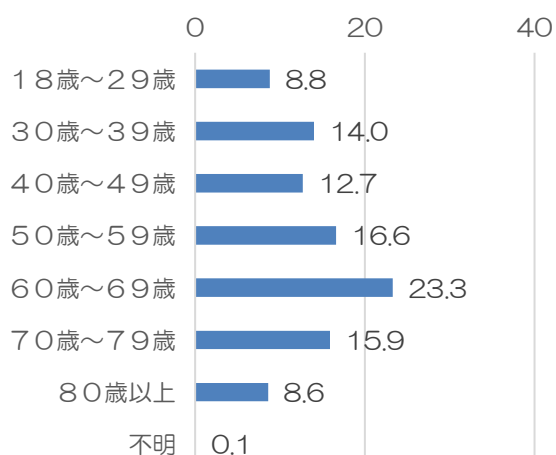
- 1) 調査対象：18歳以上の市民から3,000人を無作為抽出
- 2) 調査方法：郵送により配布し、郵送により回収
- 3) 調査期間：令和5年1月13～31日
- 4) 配布数：3,000票
- 5) 回収数：1,185票
- 6) 回収率：39.5%

回答者性別（単位：%）



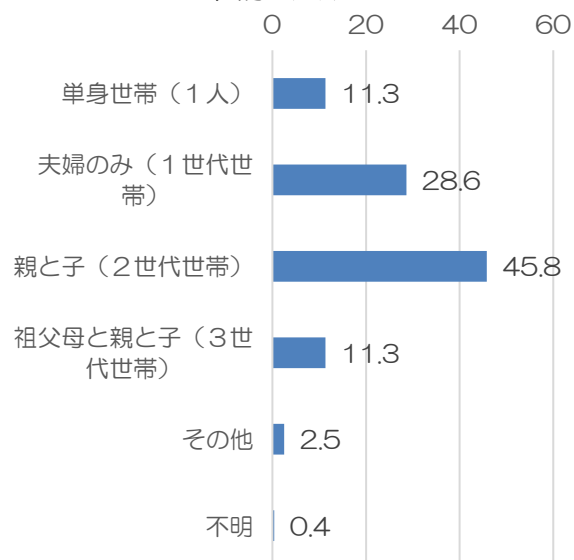
○回答者性別では、「男性」が45.7%、「女性」が53.7%で、「女性」が「男性」を8.0ポイント上回るもののほぼ同数。

回答者年齢層（単位：%）



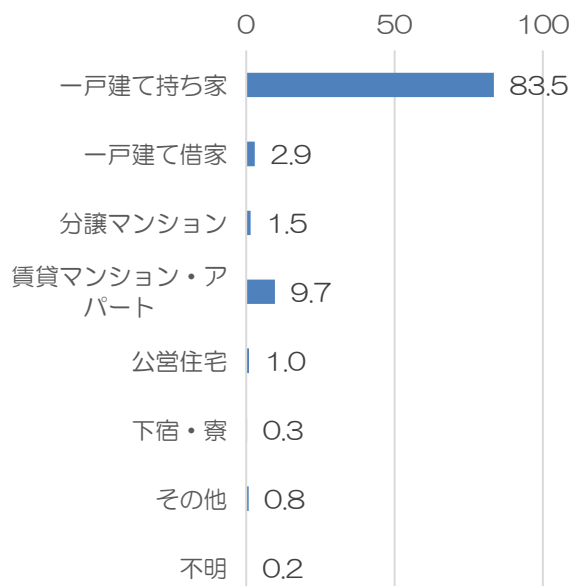
○回答者年齢層では、60歳代が最も多く、50歳代、70歳代と続く。

世帯構成（単位：%）



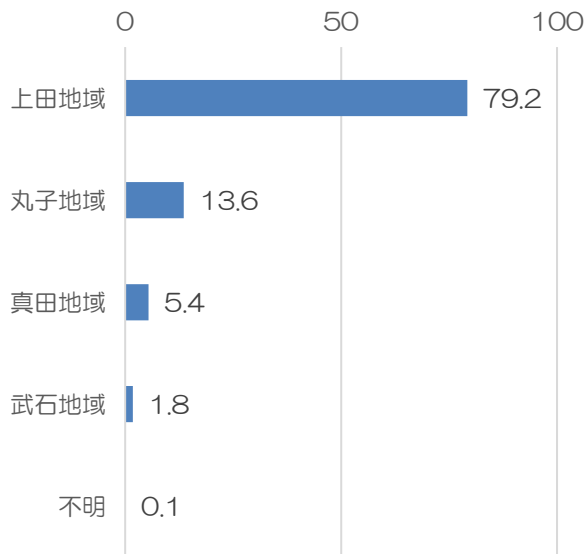
○親と子の世帯が多く、夫婦のみの世帯と合わせて約8割を占める。

住まいの種類（単位：%）



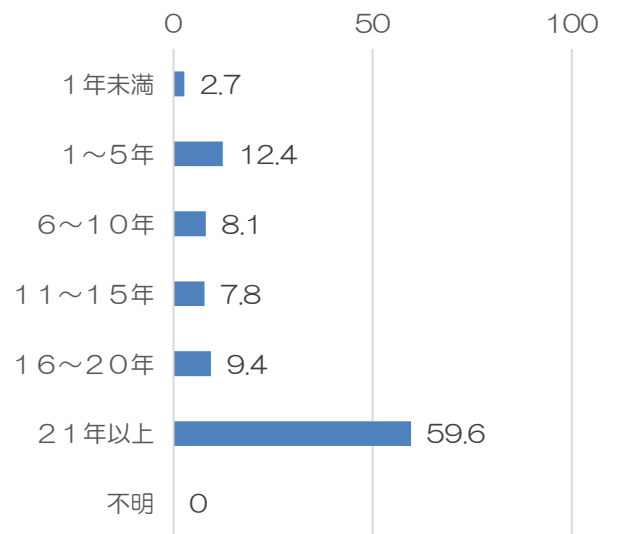
○一戸建て持ち家が約8割以上を占める。

居住地 (単位:%)



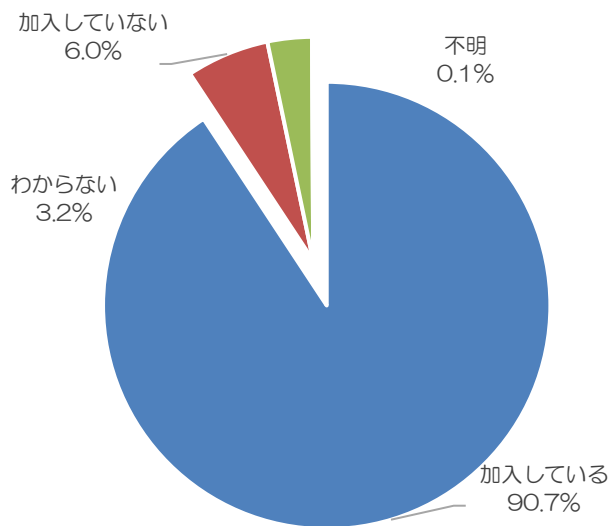
○居住地はおおむね上田地域に集中している。

居住年数 (単位:%)



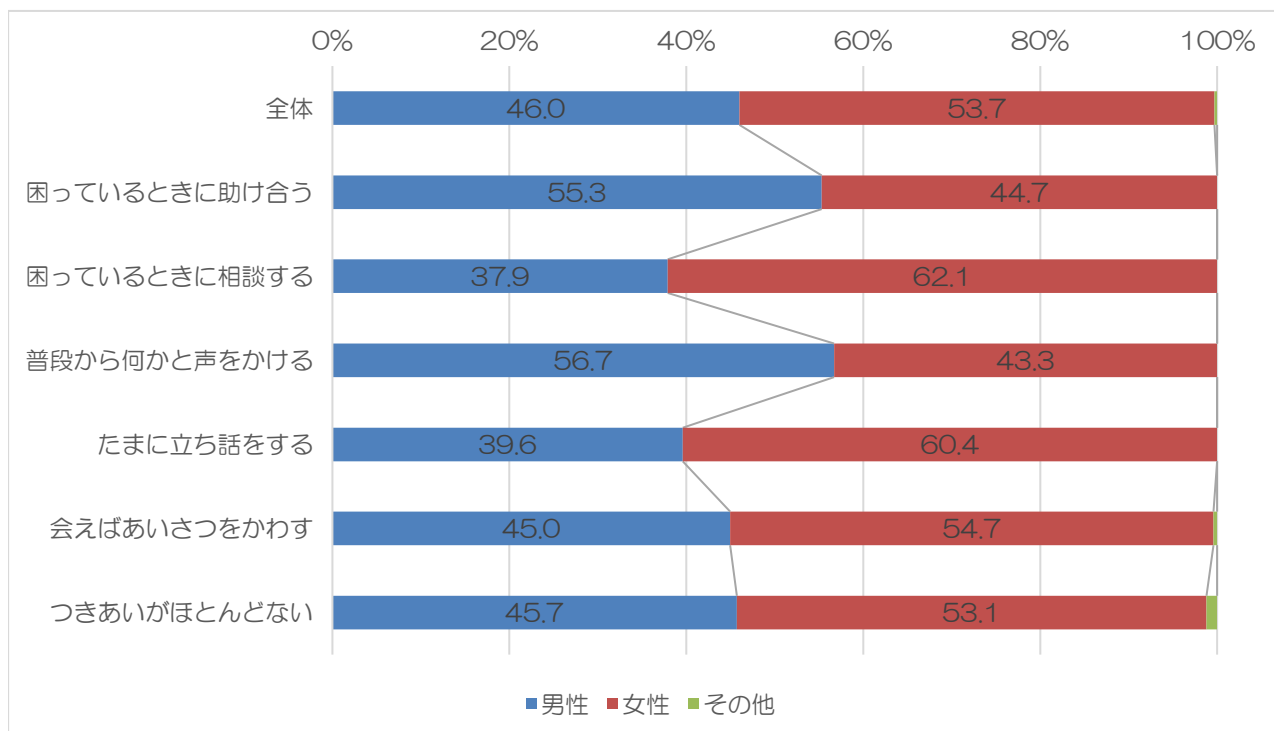
○居住年数は21年以上が全体の6割を占める。

自治会への加入割合



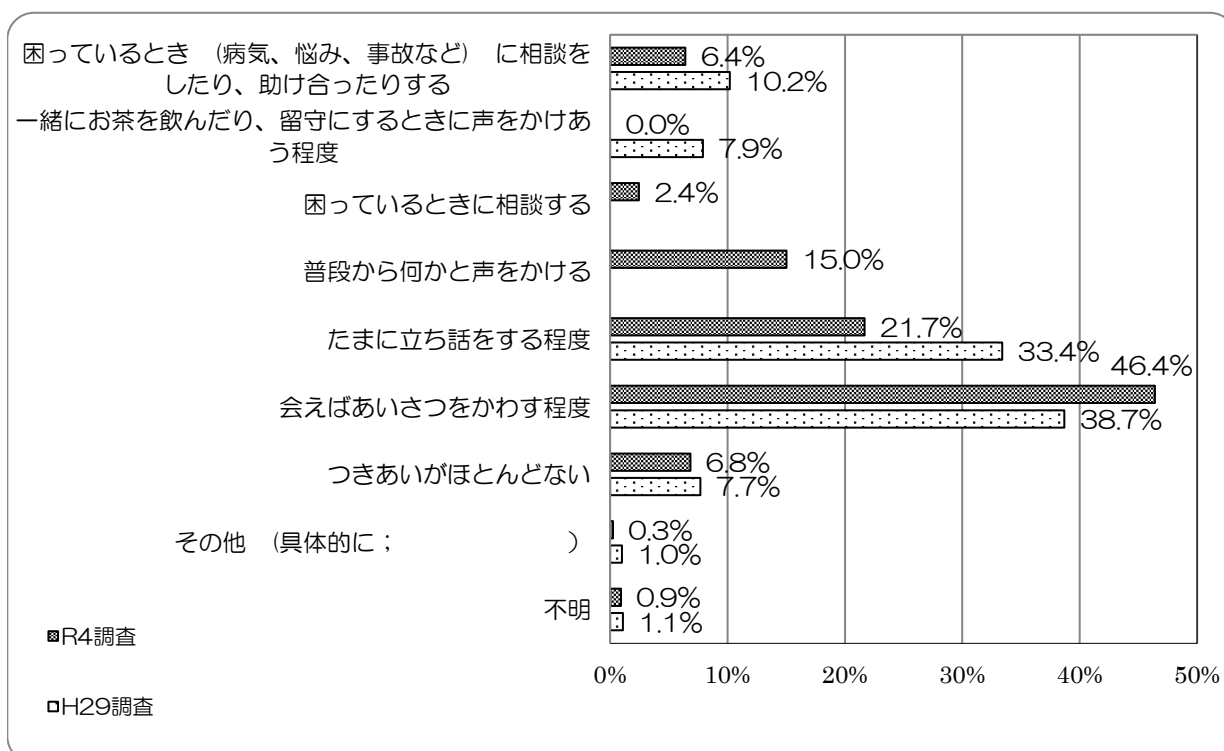
○加入している世帯が9割を占める。

問1 あなたは日ごろ、ご近所の方とどのようなつきあい方をしていますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

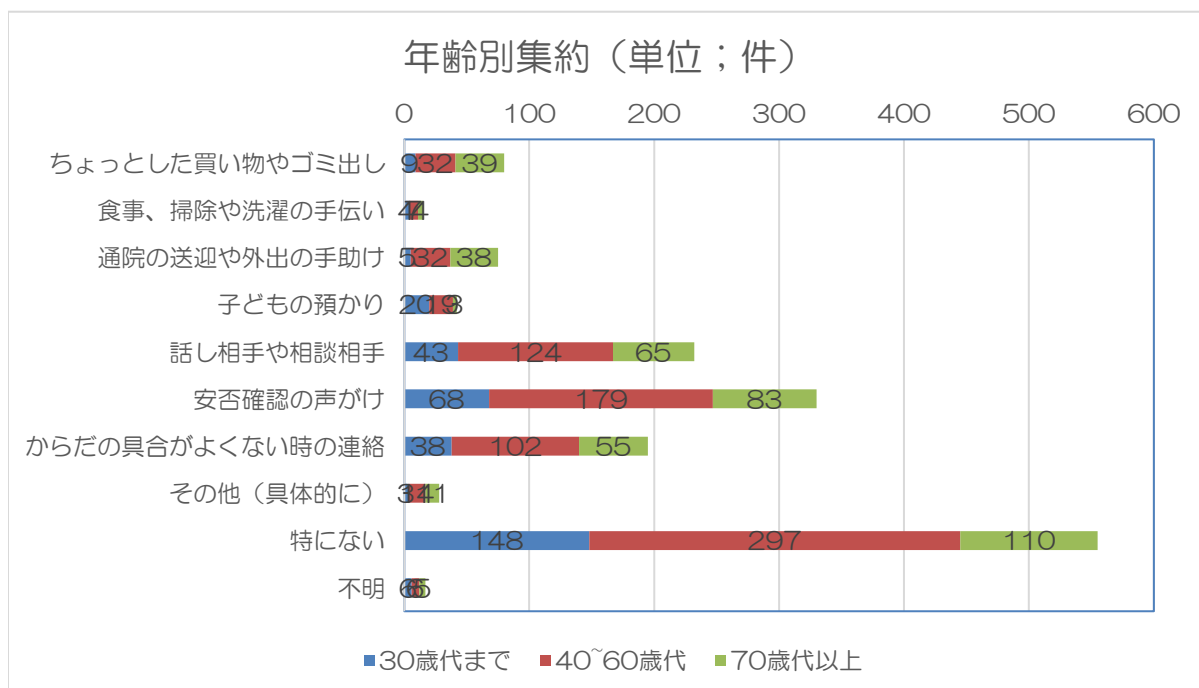
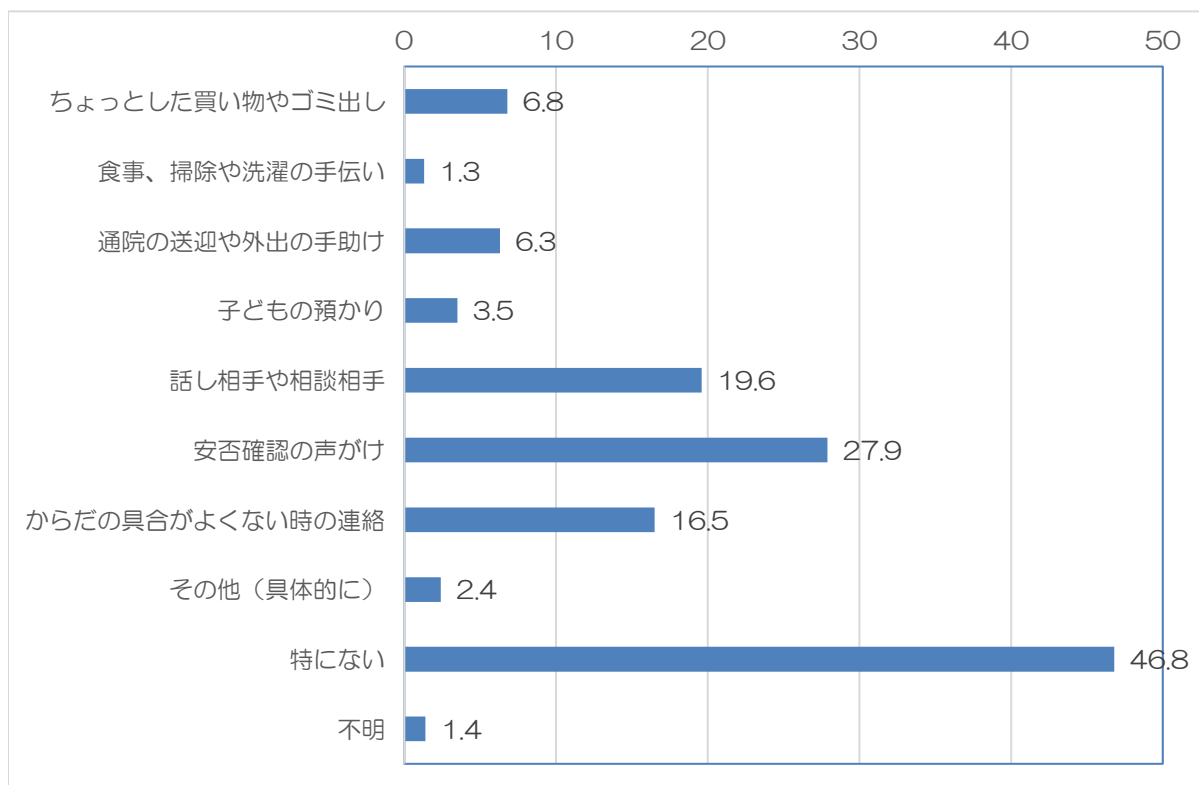


○男女差はあまり見られないが男性は困った時に助け合う、普段から声がけをするを挙げているが、女性は困った時に相談するや、たまに立ち話をするといったライトな付き合い方をする傾向にあると思われる。

前回調査との比較

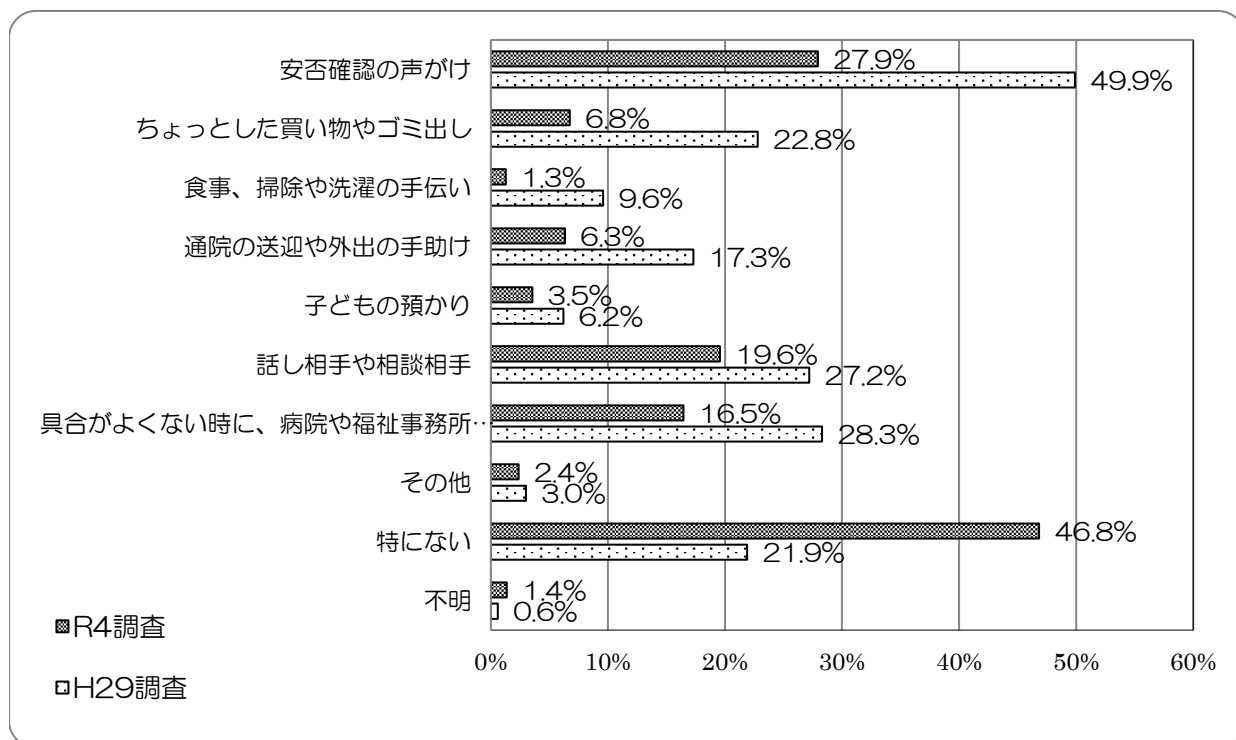


問2 あなたは日常生活を送るうえで困ったとき、ご近所でどのようなことをしてほしいですか。（あてはまるものすべてに○）

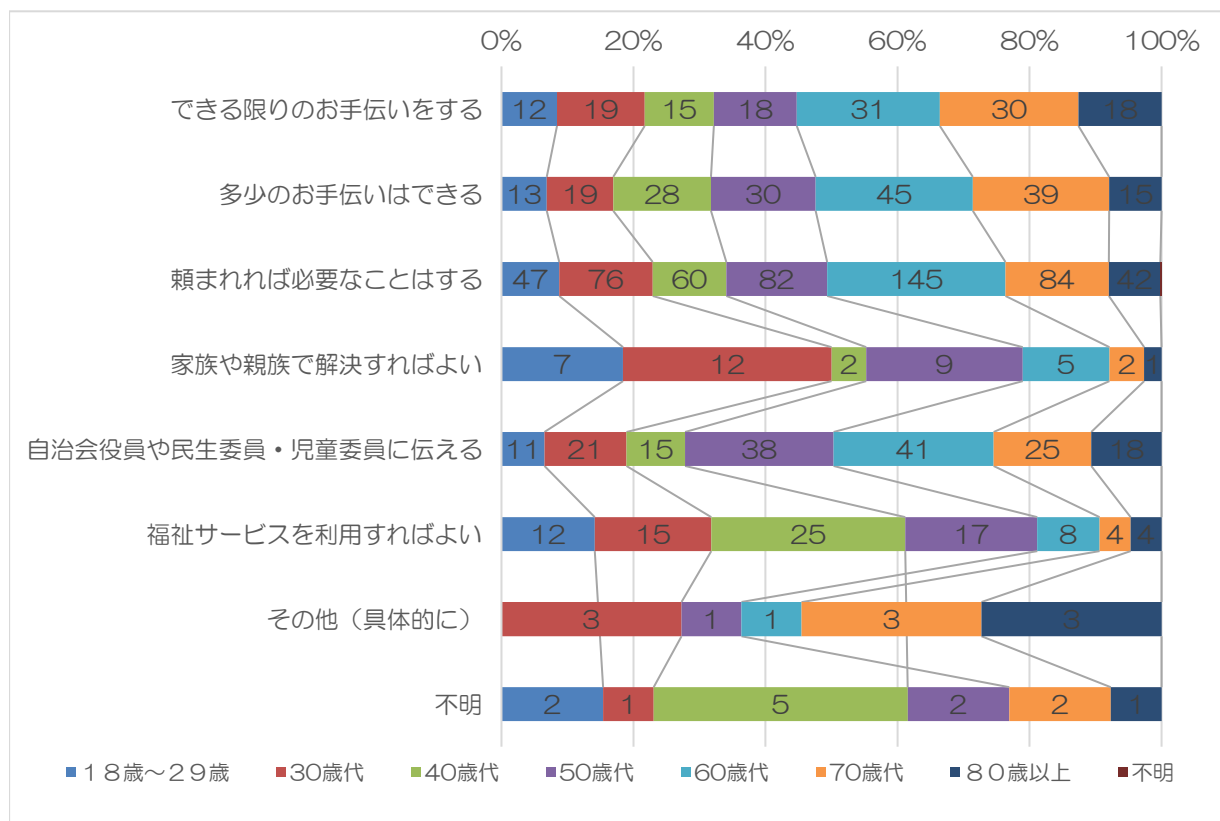


○「特にない」が46.8%を占める。年代別に集約すると70歳以上高齢者の場合、通院やちょっとした買い物やゴミ出しが困るケースがあるものの全体として近所にしてほしいと思う事は少ない。

前回調査との比較

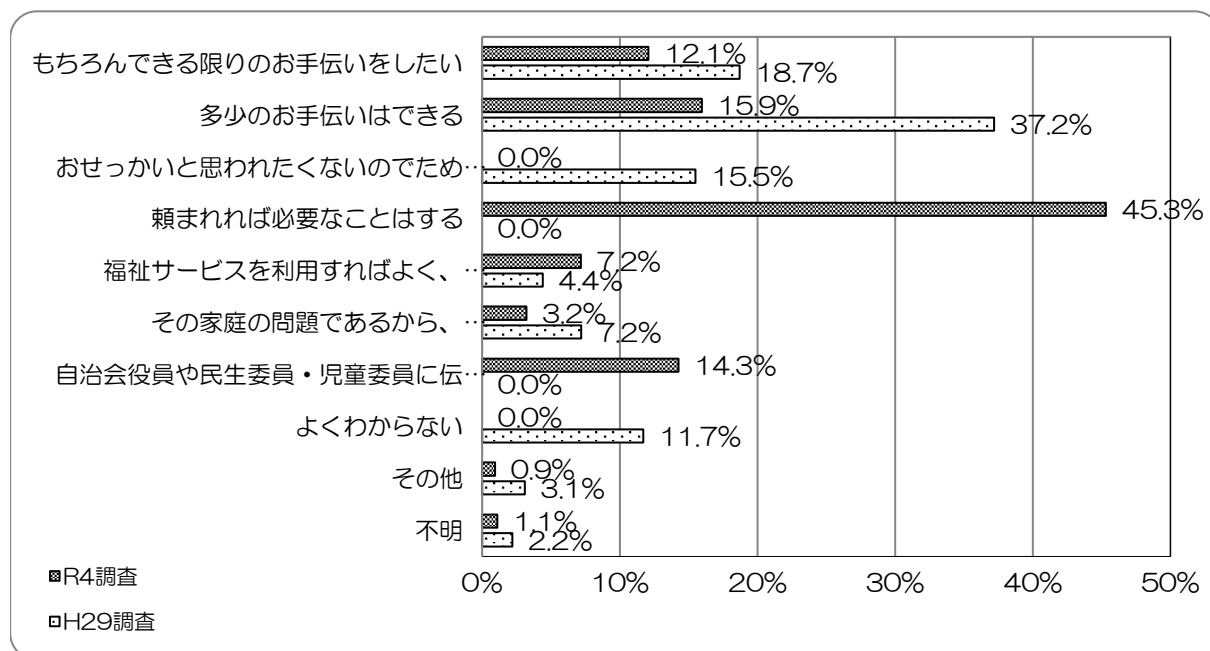


問3 あなたのご近所で高齢者や障がい者、子育てなどで困っている世帯があった場合の、あなたの考えにあてはまるものはどれですか。
(最もあてはまるもの1つに○)

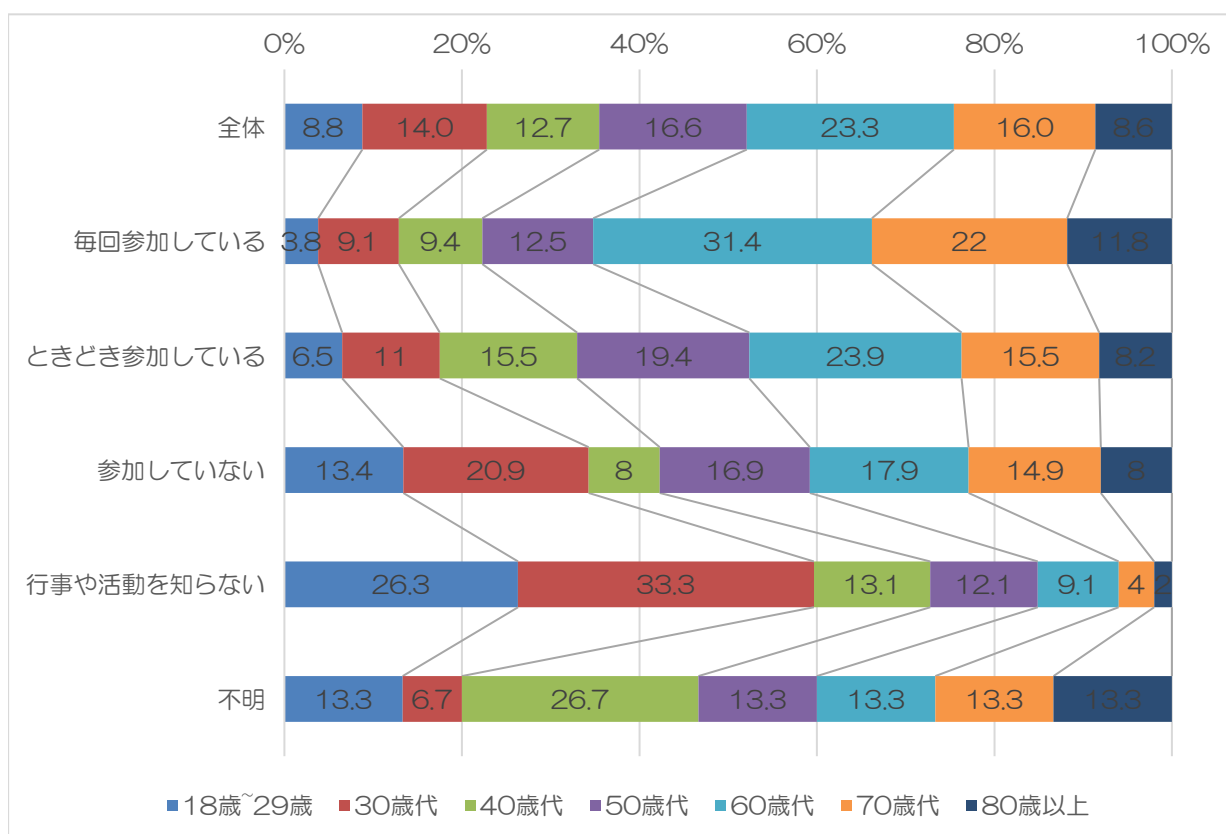


○頼まれれば必要なことはするが最も多い。年代別における大きな差はないが、子育て年代に家族や親類で解決すればよいという意見が多い。

前回調査との比較

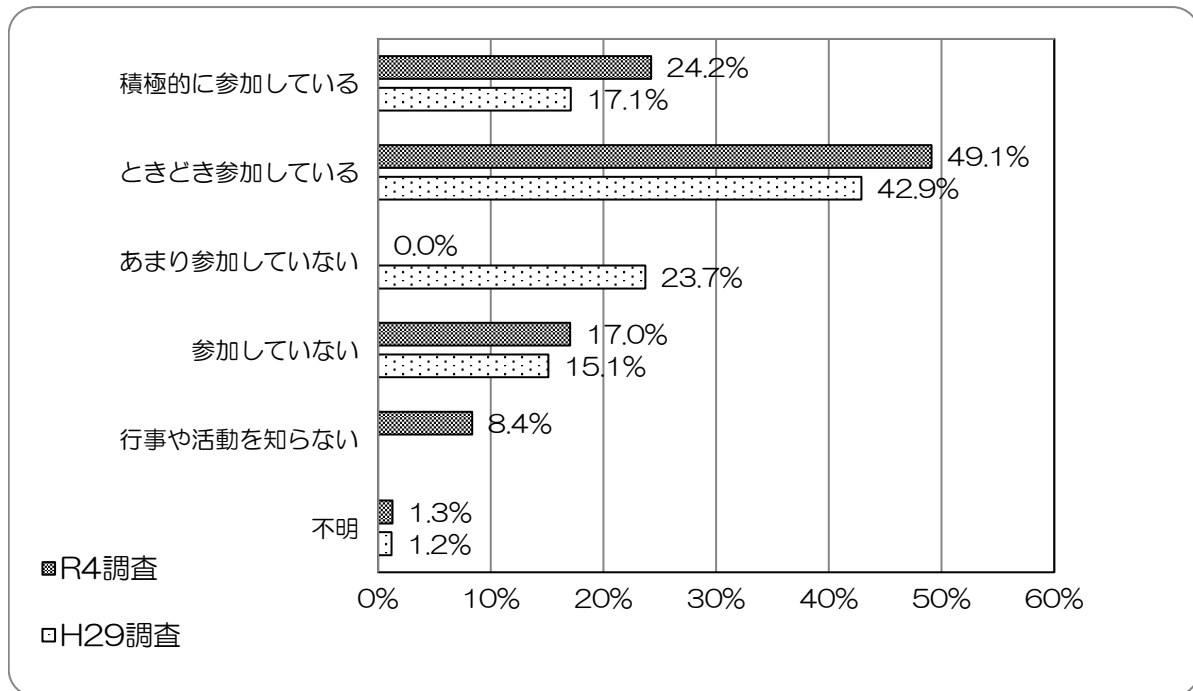


問4 (あなたの世帯について) 自治会の行事や活動に参加していますか。(最もあてはまるもの1つに○)

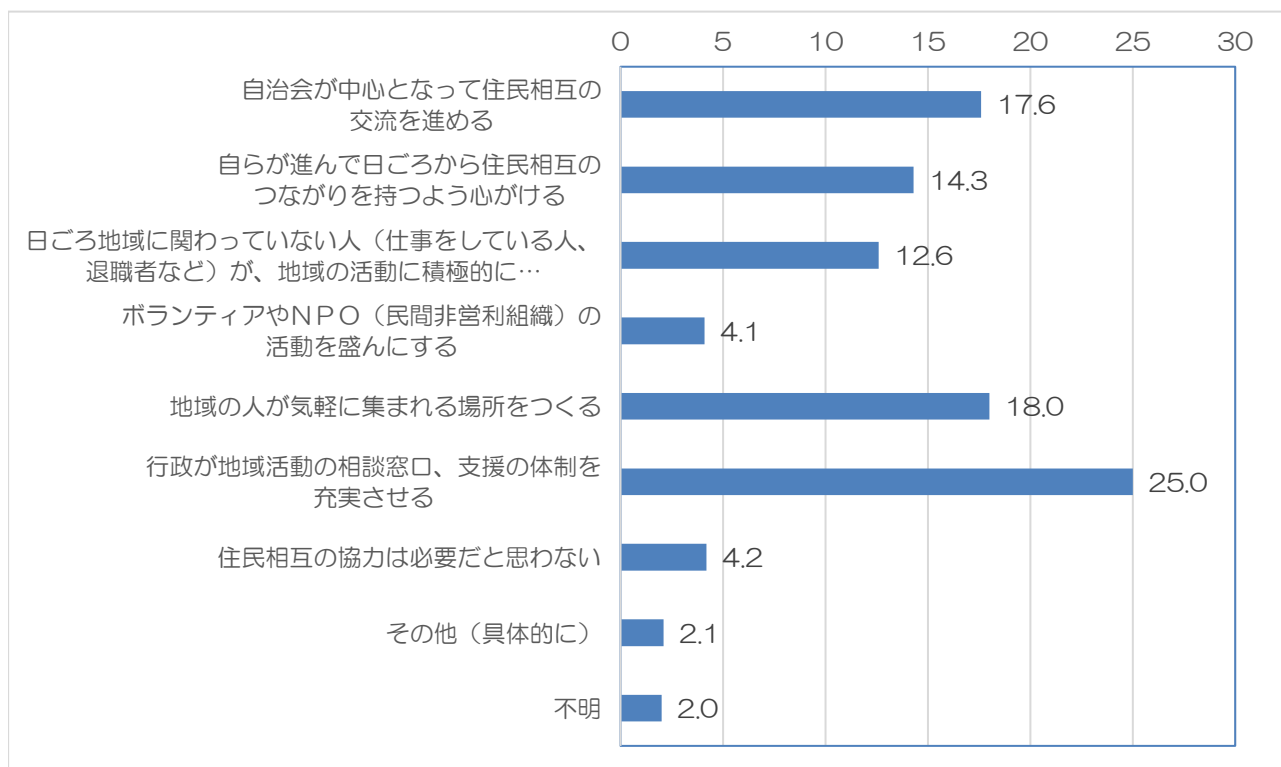


○毎回参加して活動を支えているのは60歳代であることが推察される。子育て世代には行事や活動を知らない、が6割を占める。

前回調査との比較

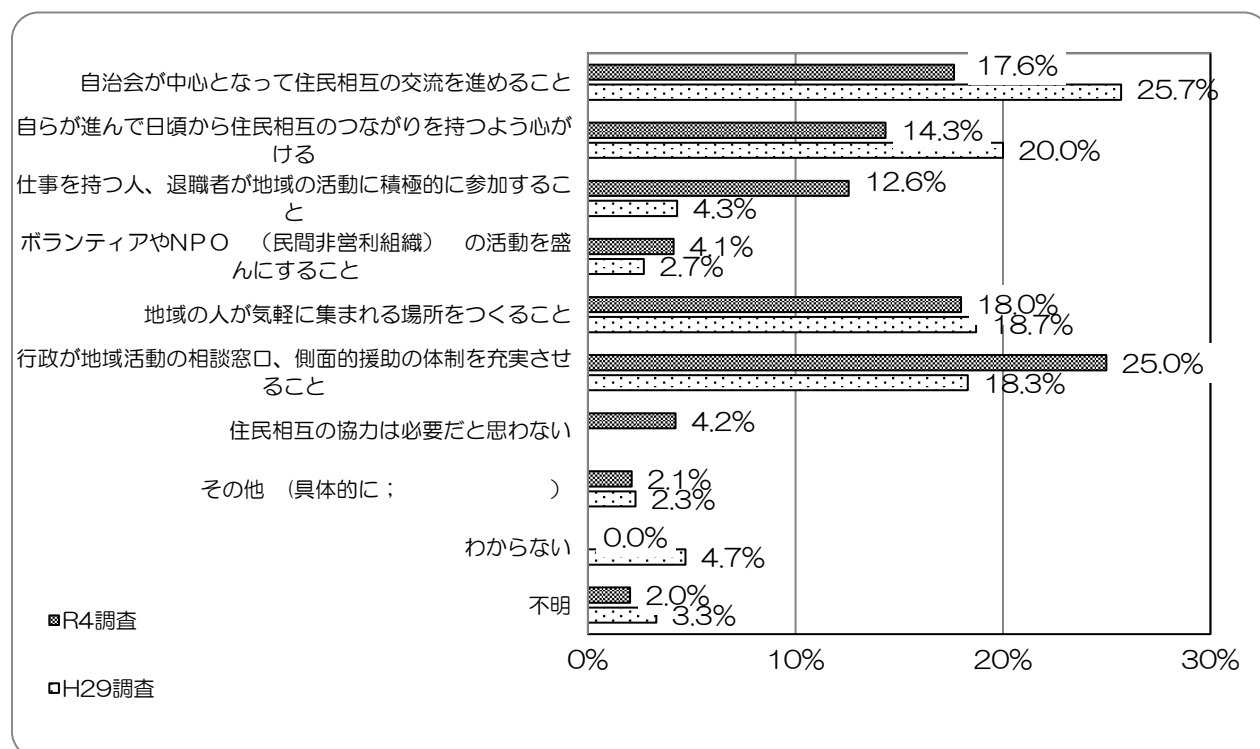


問5 あなたは、地域で生じる様々な生活課題に対する住民相互の協力のためには、どんなことが必要だと思いますか。（最もあてはまるもの1つに○）

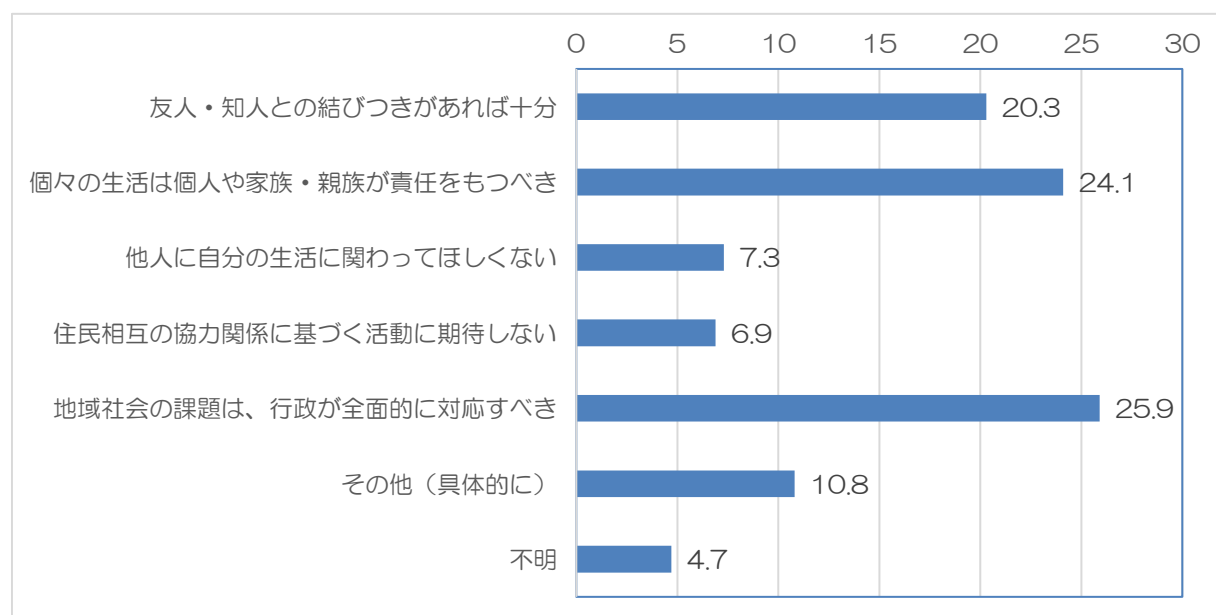


○行政が地域活動の相談窓口、支援の体制を充実させるが25.0%、自治会が中心となって住民相互の交流を進めるが17.6%で約半数を占める。

前回調査との比較

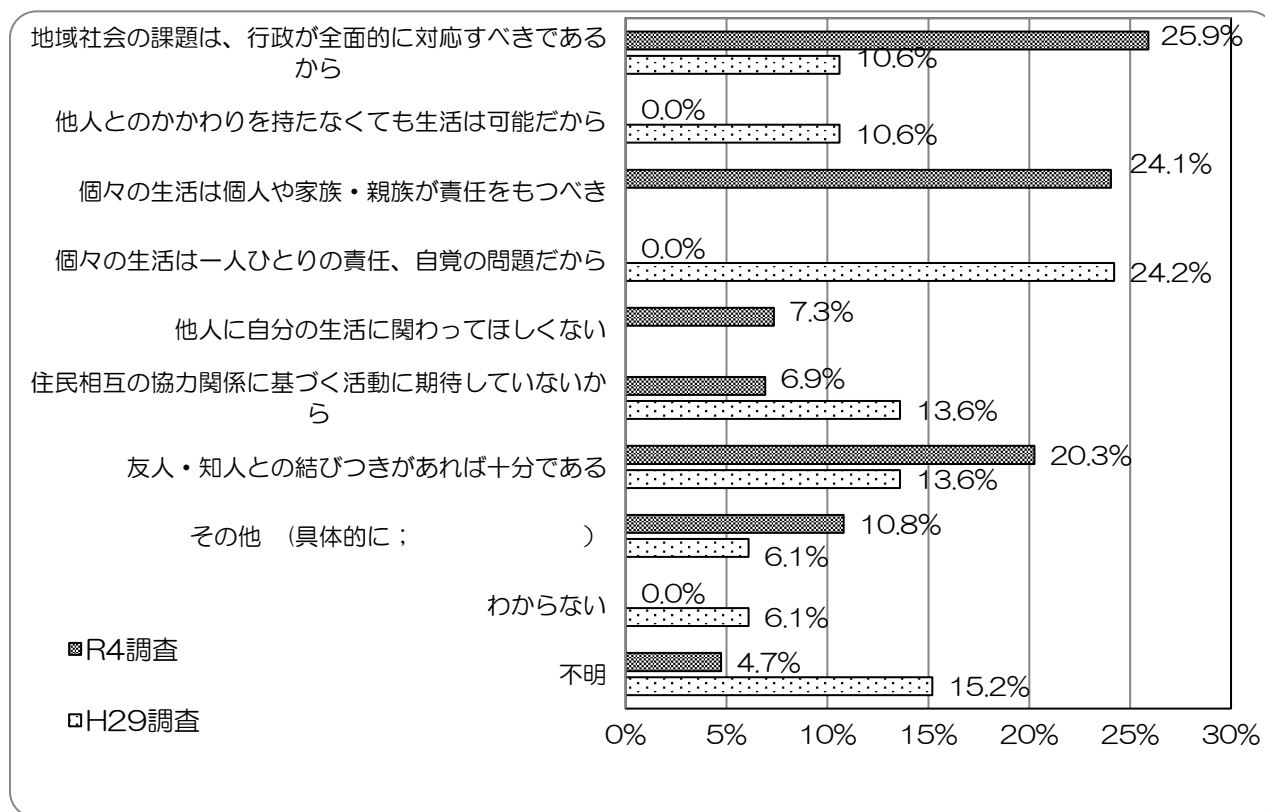


問6 住民相互の協力のあり方についてどのようにお考えですか。
（最もあてはまるもの1つに○）

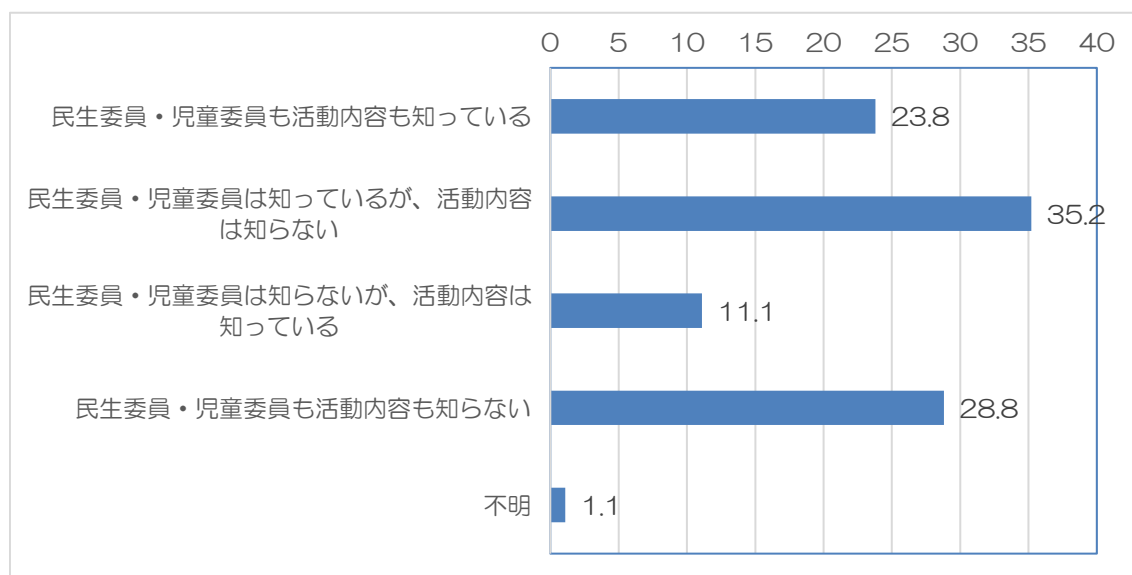


○個々の生活は個人や家族・親族が責任を持つが24.1%、地域社会の課題は、行政が全面的に対応すべきが25.9%となっているが、自由意見の多さをみると関心の高い課題と言える。

前回調査との比較

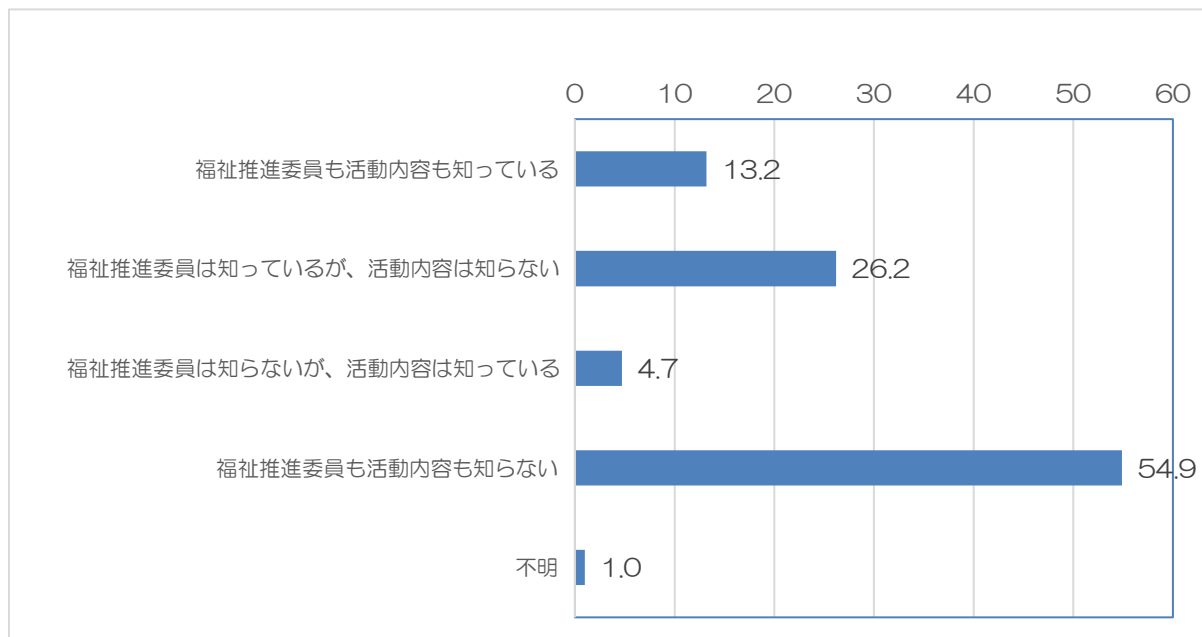


問7 あなたは、あなたの住んでいる地域の民生委員・児童委員やその活動内容を知っていますか。（最もあてはまるもの1つに○）



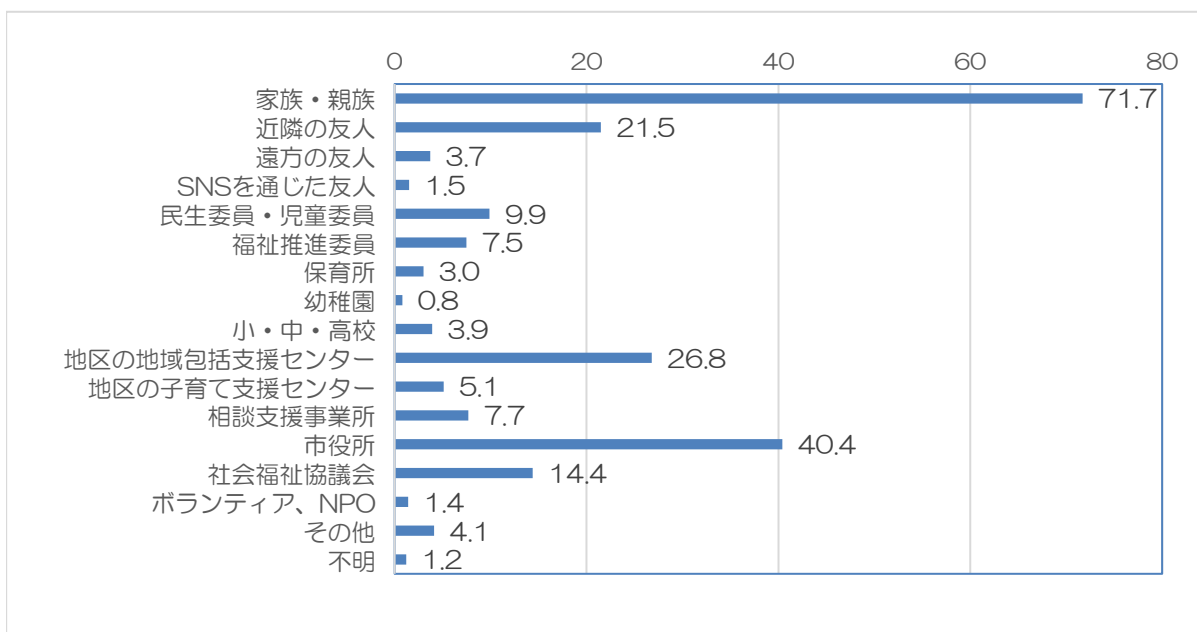
○民生委員・児童委員は知っているが活動内容は知らないが 35.2%、どちらも知らないが 28.8%であった。

問8 あなたは、あなたの住んでいる地域の福祉推進委員やその活動内容を知っていますか。（最もあてはまるもの1つに○）



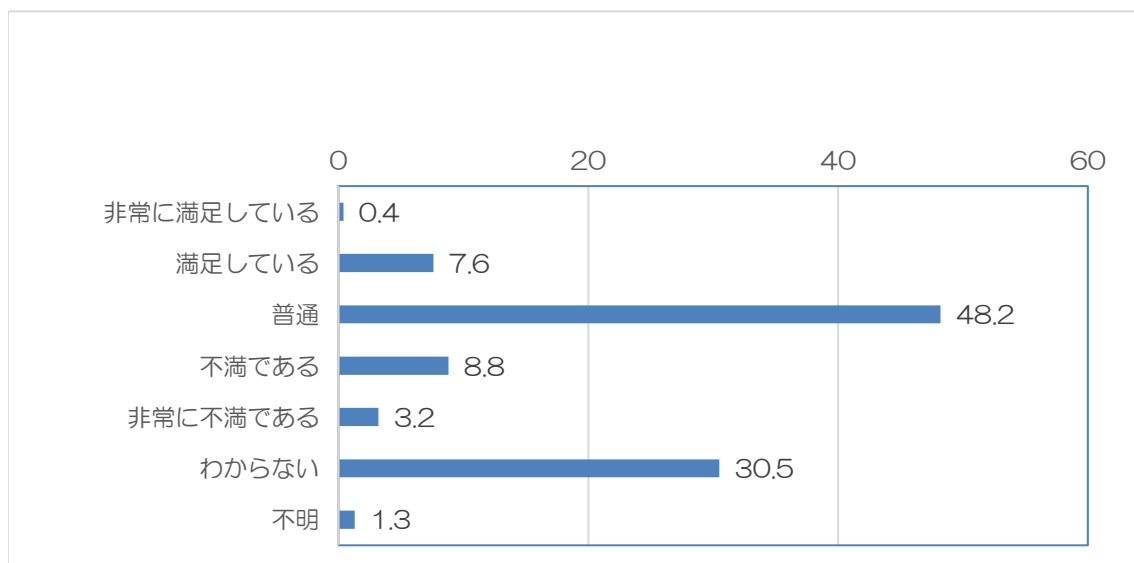
○福祉推進委員も活動内容も知らない、が半数以上を占める。

問9 あなたは、福祉の相談を誰（どこ）にしますか。（あてはまるものすべてに○）



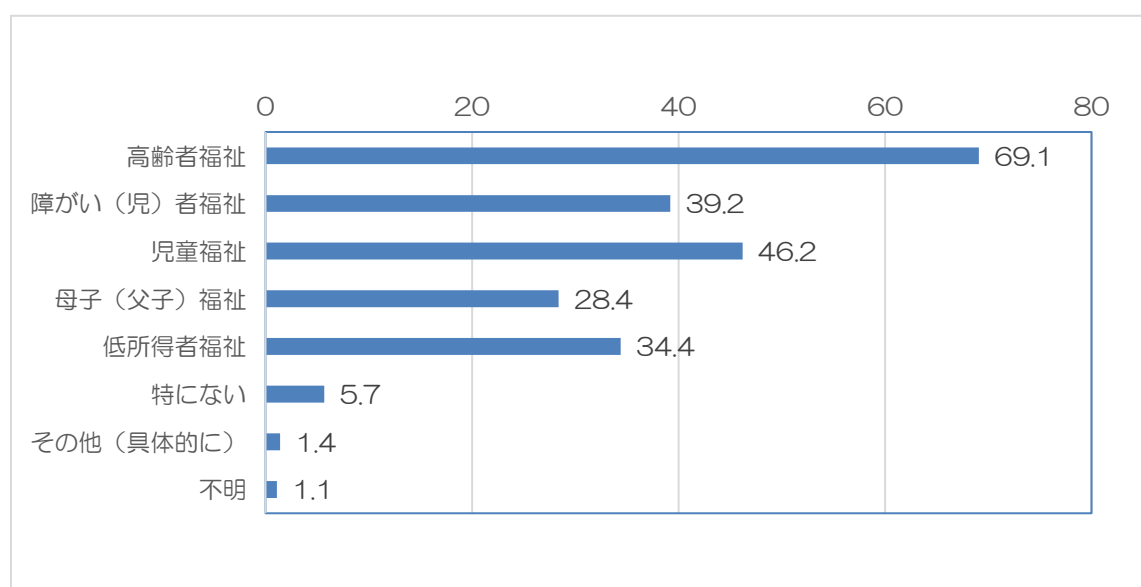
○市役所が 40.4%で最も多くその他の公共機関も相談先と認識されている。家族・親戚が 71.7%、と最も多い。友人や SNS を通じた友人など現代の風潮を象徴する回答と推察される。

問 10 あなたは、上田市の現在の福祉についてどのように感じていますか。
(最もあてはまるもの1つに○)



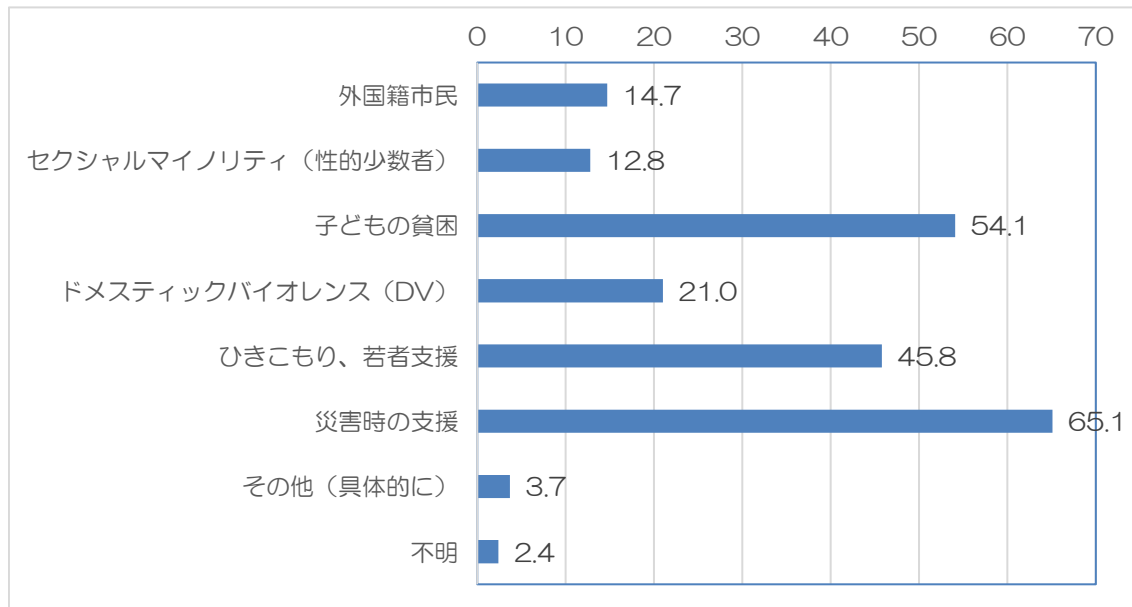
○普通が48.2%、分からないが30.5%と続き、満足度が低い傾向にあると推察される。

問 11 あなたは地域福祉を推進するため、特に重視していくことが望ましい福祉分野は次のうちどれだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)



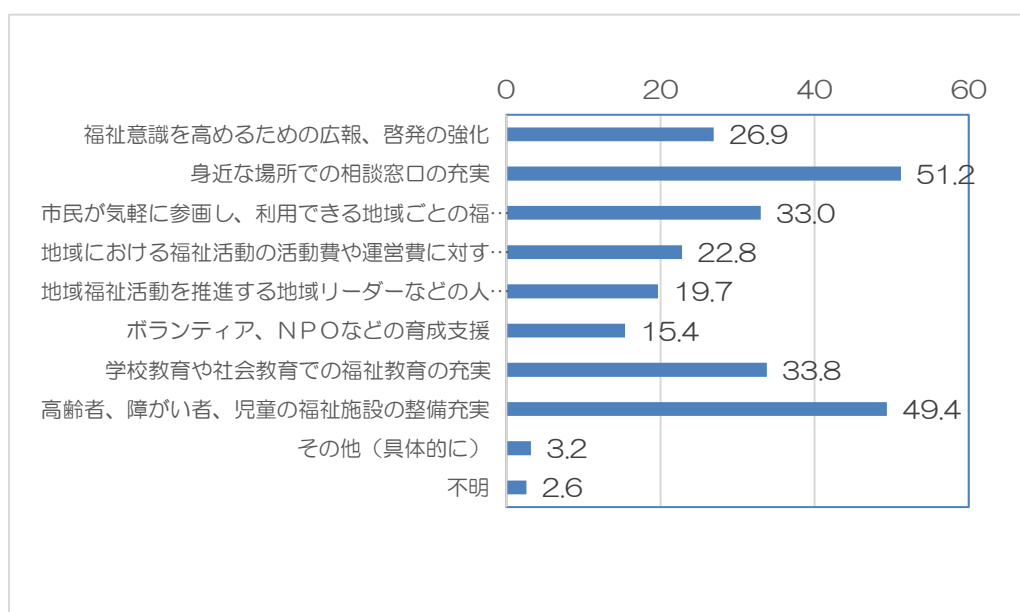
○高齢者福祉を重視していくことが望ましいが69.1%であった。続いて児童福祉、障がい者（児）福祉が続く。特にないといった意見は小数であり関心の高さがうかがえる。

問１２ あなたは、以下の中で、これから重点的に取り組むことが必要だと思うものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）



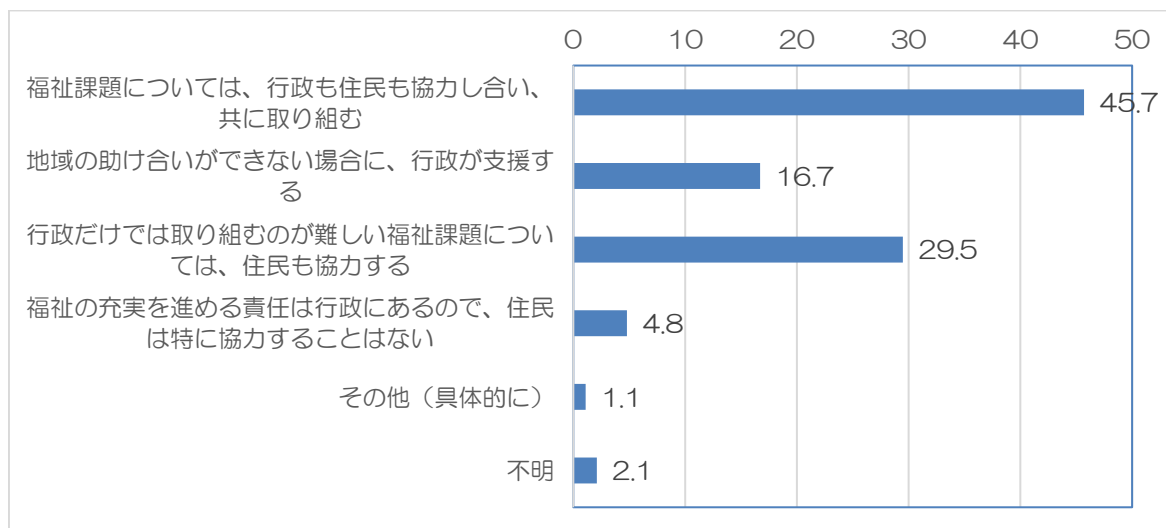
○災害時の支援や子供の貧困などの関心が高い。緊急性の高いものに関心があると推察される。

問１３ あなたは、地域福祉を推進するため、今後、何が必要だと思いますか（あてはまるものすべてに○）



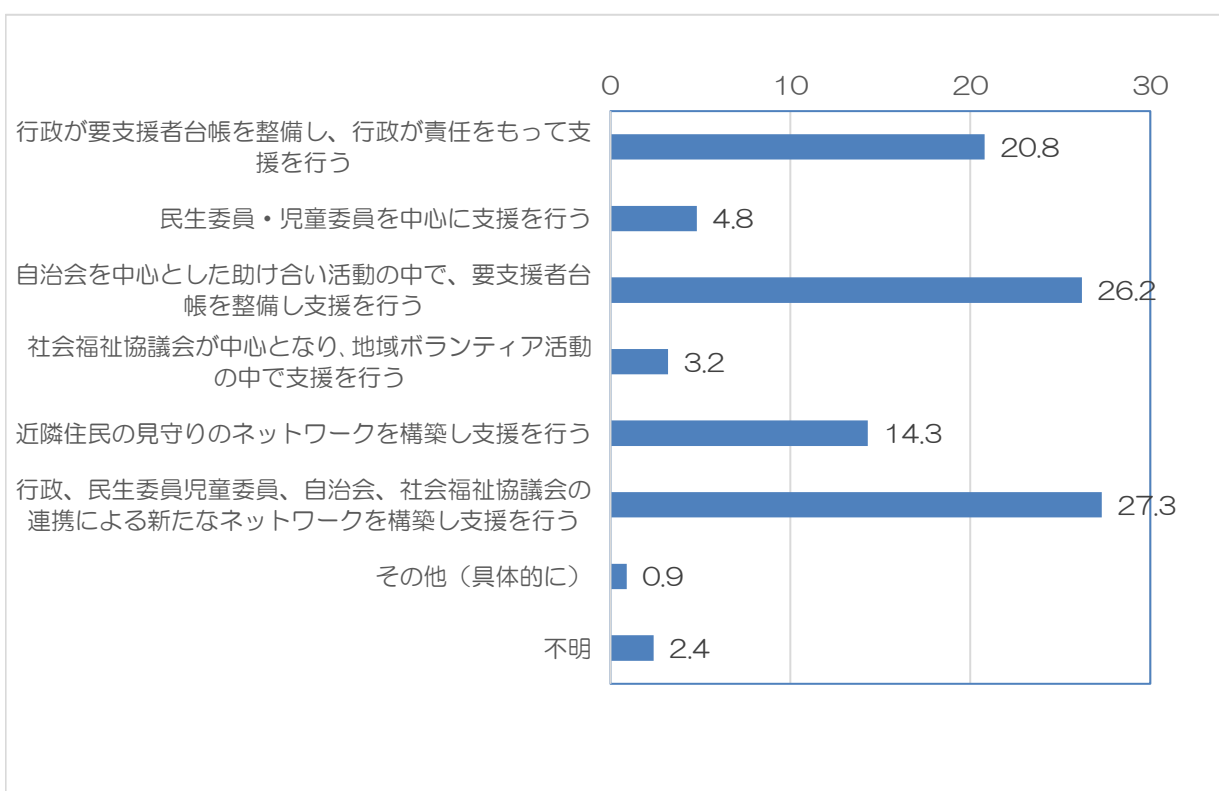
○身近な場所での相談窓口の充実、高齢者、障がい者、児童の福祉施設の整備充実が求められている。

問１４ 福祉を充実させていく上で、上田市（行政）と地域住民の関係について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。
（最もあてはまるもの１つに○）



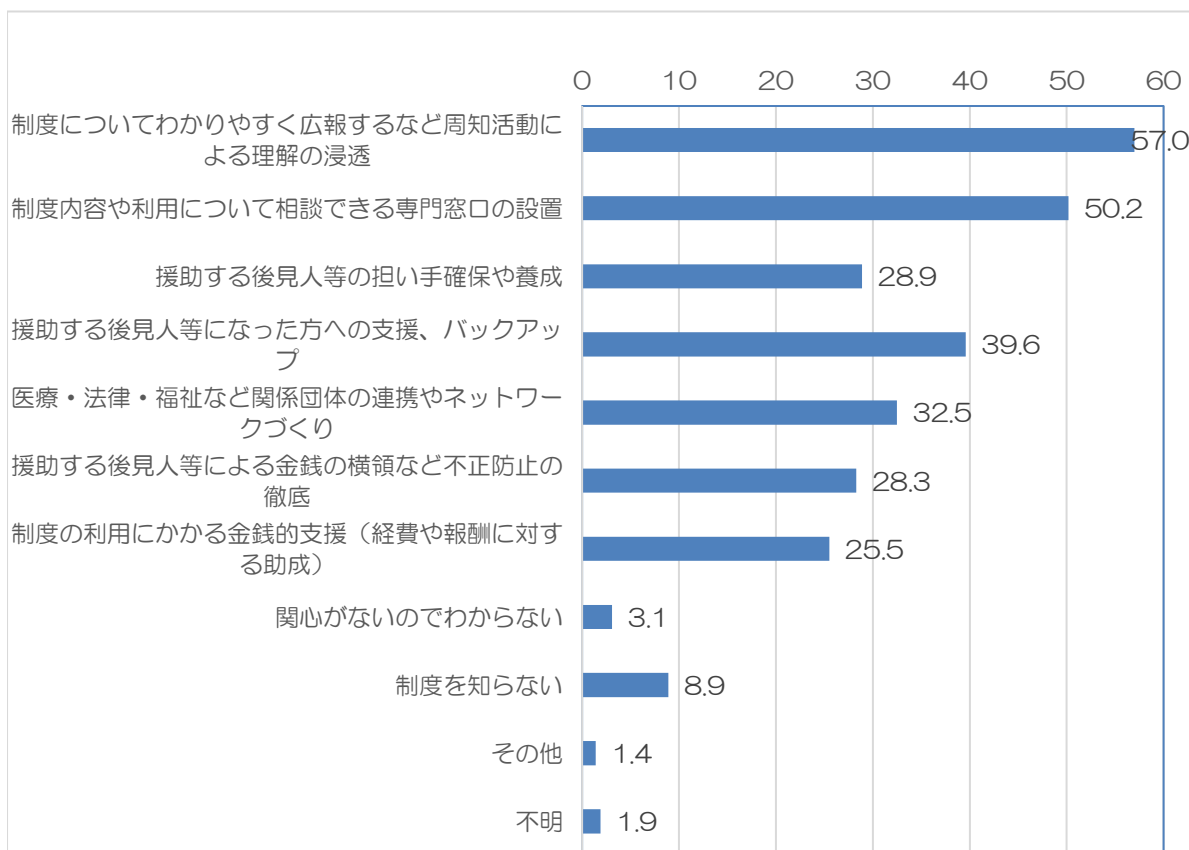
○行政と住民の協働が求められている。

問１５ あなたは、災害時や救急時におけるひとり暮らしの高齢者、障がい者などの安否確認、支援を行うための体制は、次のうちどれが良いと思いますか。（最もあてはまるもの１つに○）



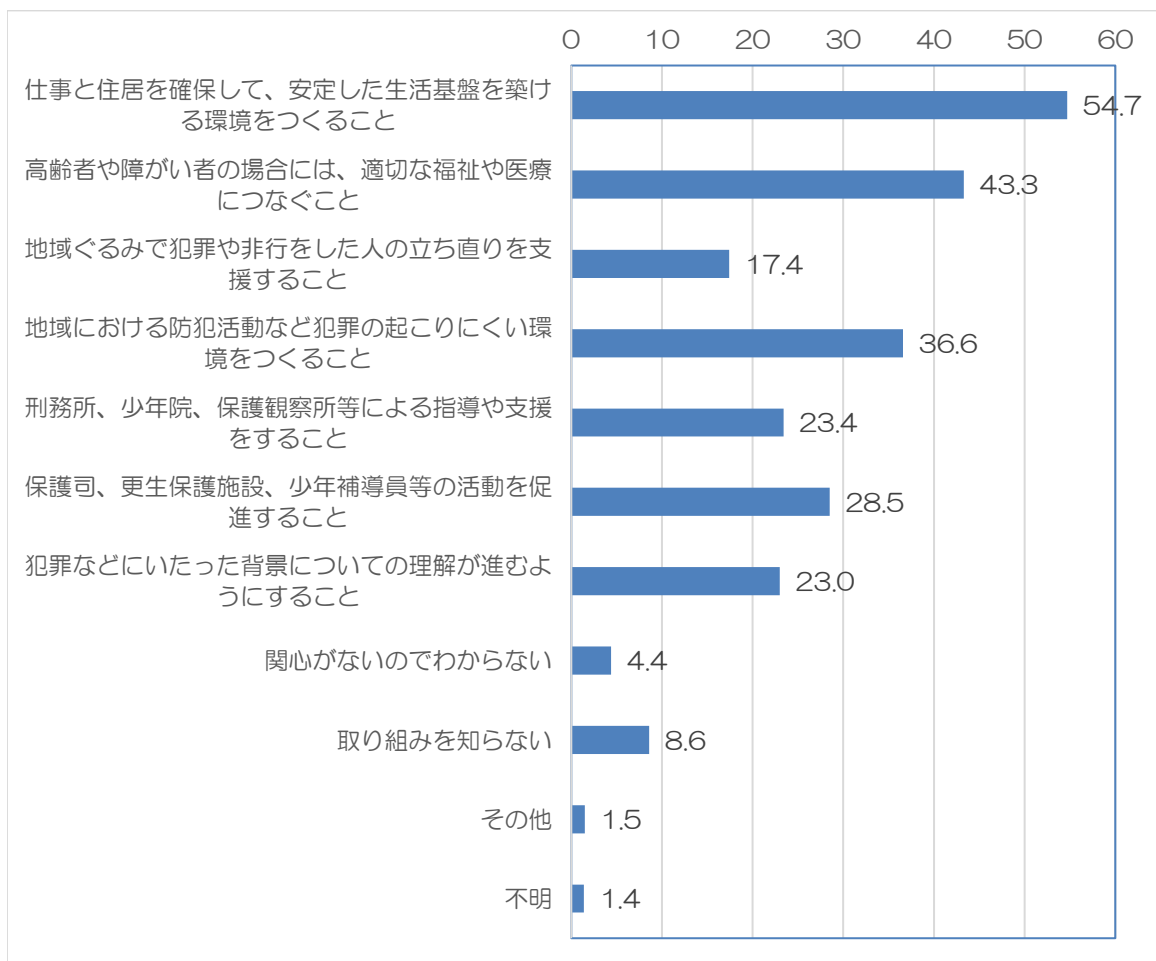
○自治会を中心とした助け合い活動、行政、民生委員児童委員、自治会、社会福祉協議会の連携による新たなネットワークし構築による支援を行う、の割合が高い。

問 16 認知症の方や知的・精神障がい者などで、物事を判断する能力が十分でない方について、本人の権利を守る援助者である後見人等を選び、支援する制度として成年後見制度があります。成年後見制度を広く利用してもらい、更に充実させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）



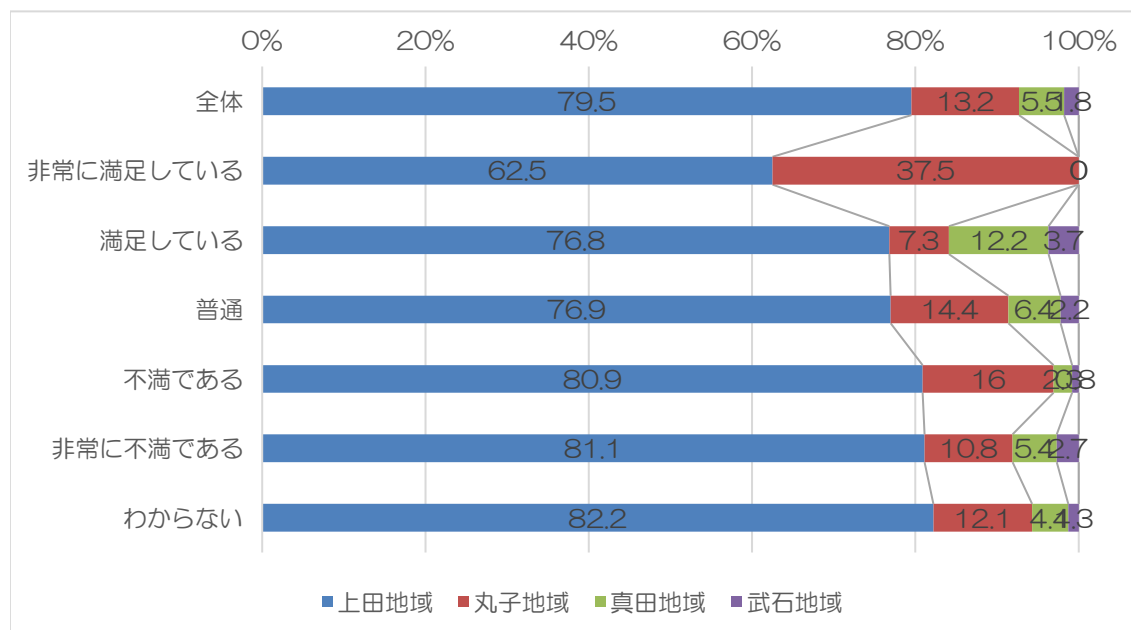
○制度そのものは知っているがそれらをより分かりやすく利用充実するための広報や専門窓口の設置がもとめられる。

問 1 7 犯罪や非行をした人が円滑に社会に復帰し、再犯を防止するための取り組みを進めていますが、再犯防止のためにどのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）



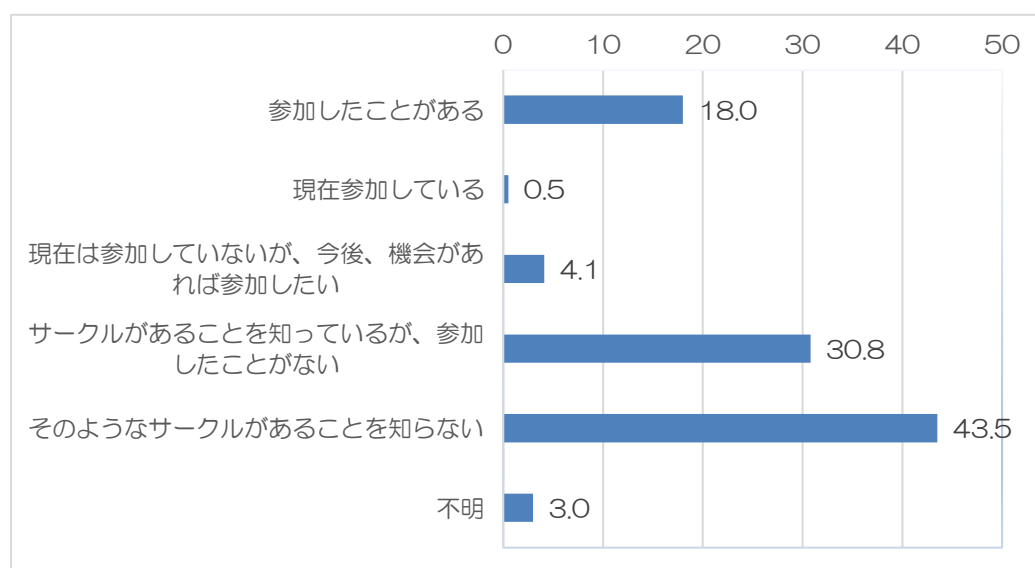
○仕事と居住を確保して安定した生活ができることが重要、また関連する機関との連携も求められている。

**問１８ 上田市の子育て支援についてどう思いますか。
（最もあてはまるもの１つに○）**



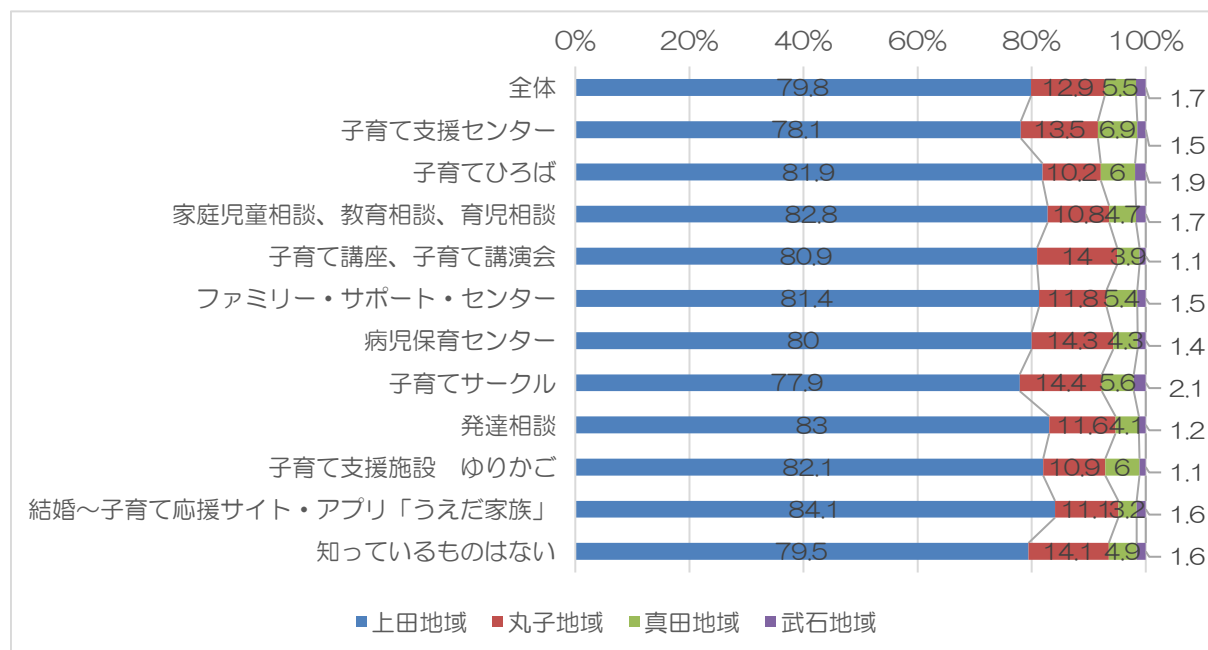
○居住地域別世帯構成（別表 2）において上田地区の数字が大半を占めるが丸子地区での満足度が高い。

**問１９ 子育てに関するサークルなどの活動に参加したことはありますか。
（最もあてはまるもの１つに○）**



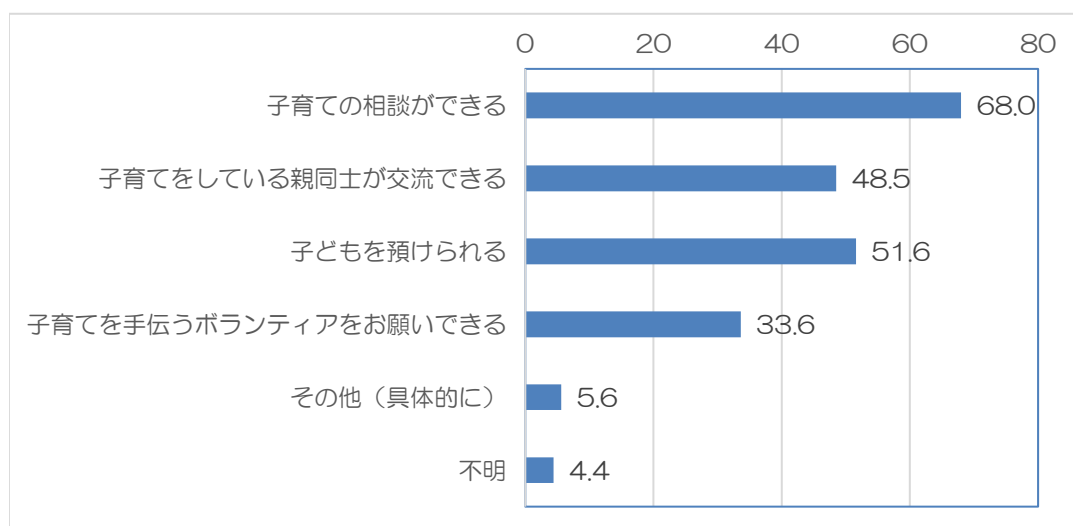
○サークルがあること自体知られていない・参加したことがないが、参加したことがある、現在参加しているを大きく上回っている。

問20 あなたが上田市で行っている子育て支援サービスで知っているものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）



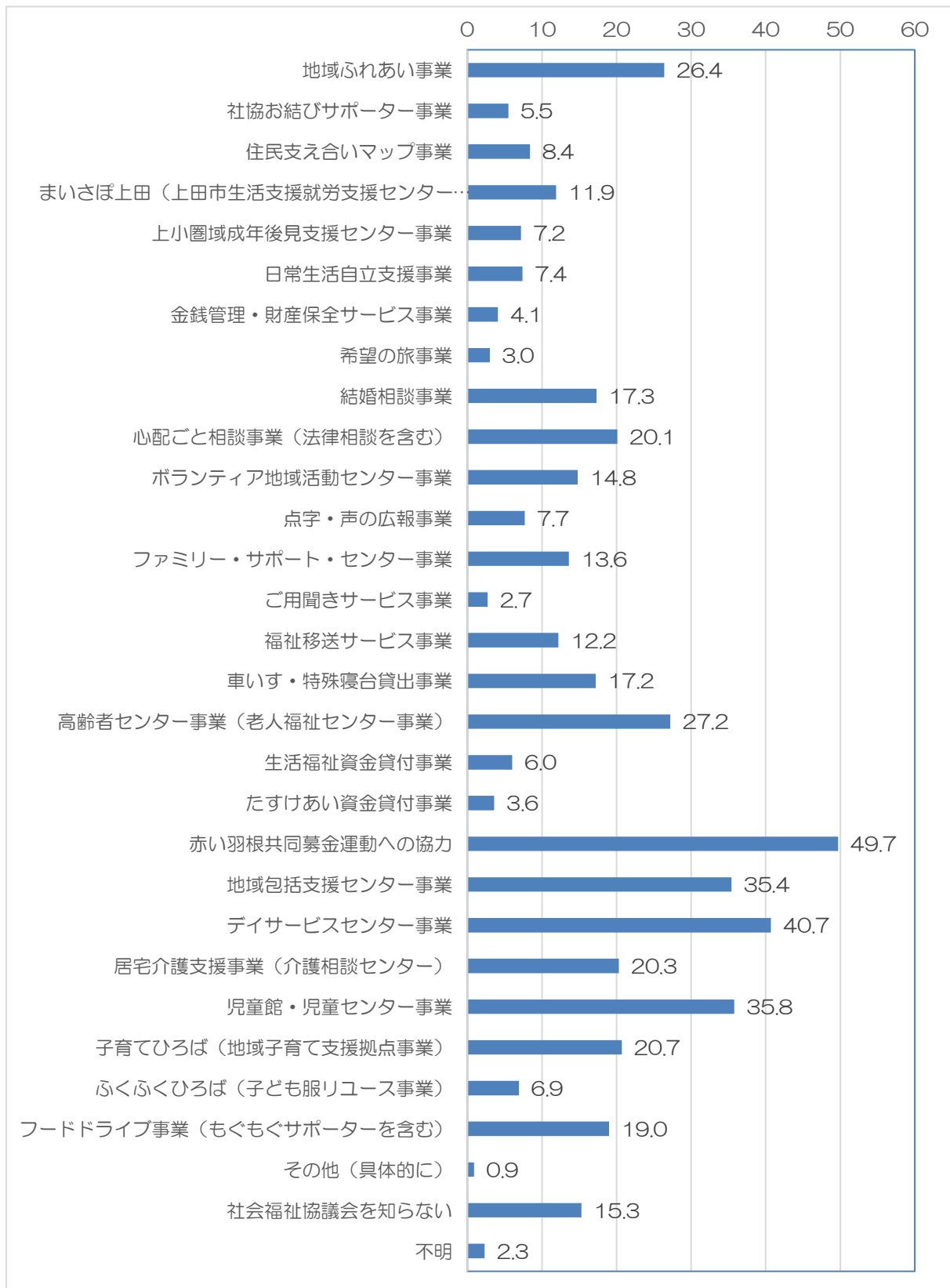
○前述の年齢層別居住地域（別表 3）において子育て世代が多く居住する上田地域の数字が突出するものの各支援サービスの周知度はほぼ同じで、地区による大きな差は見られない。

問21 あなたは、子育て支援にどのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）



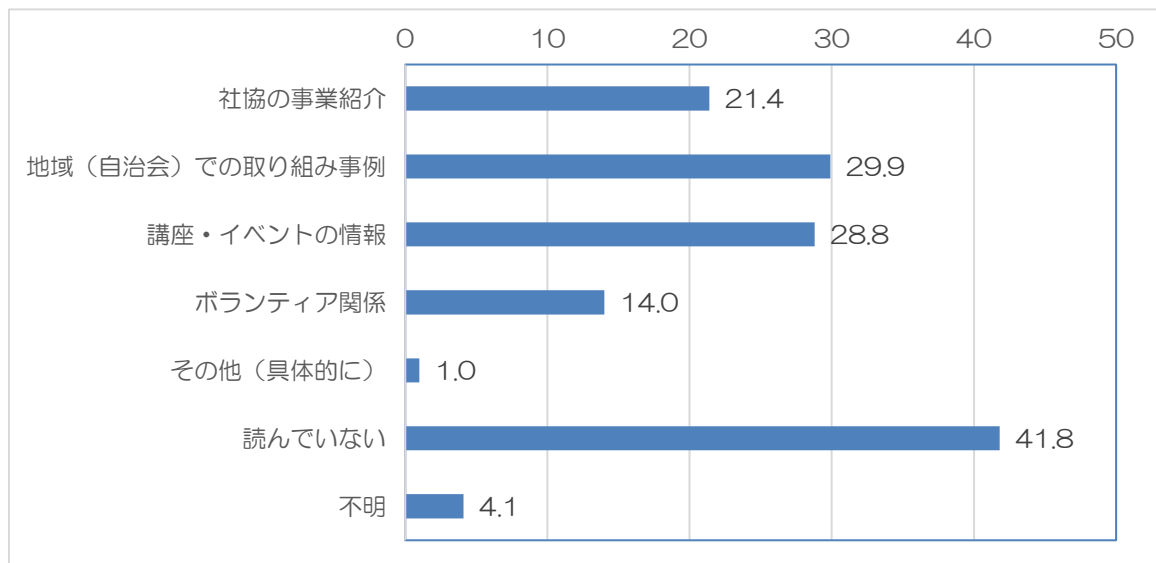
○子育てに対する不安を解消するための相談ができる、子供を預けられるなどが必要な事としてあげられる。その他の意見も多く関心が高い。

問22 あなたは、上田市社会福祉協議会やその活動内容を知っていますか。
上田市社会福祉協議会の活動で、あなたが知っているものはどれですか。
(あてはまるものすべてに○)



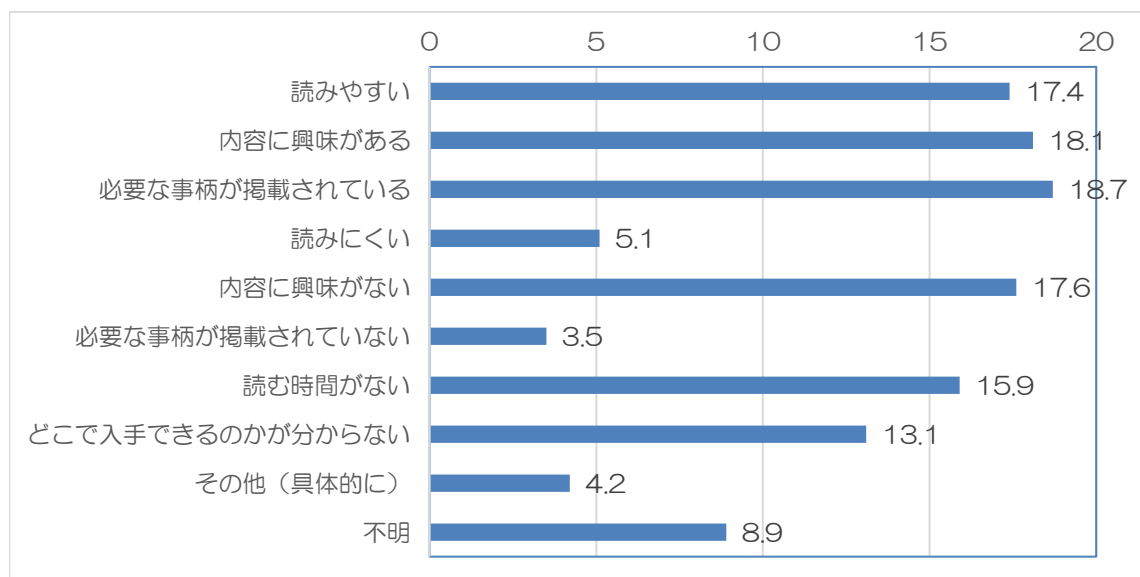
○様々な事業の中で赤い羽根共同募金運動への協力の周知度が最も高い。

問23 あなたは上田市社会福祉協議会の広報誌「社協うえだ」を読んでいますか。「社協うえだ」であなたが興味のある記事はこういったものですか。（あてはまるものすべてに○）



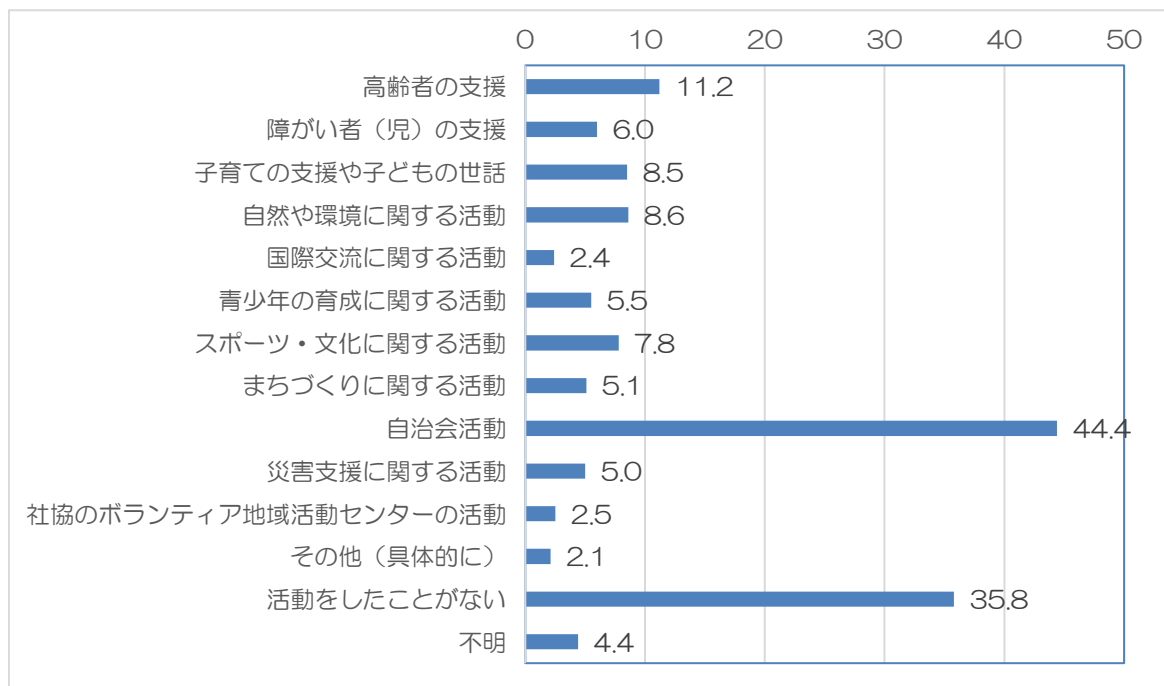
○広報誌を読んでいない、が最も多いが地域での取り組み事例や講座・イベント情報などは活用されている。

問24 「社協うえだ」についてのあなたのお考えについて、下記からお選び下さい。（あてはまるものすべてに○）



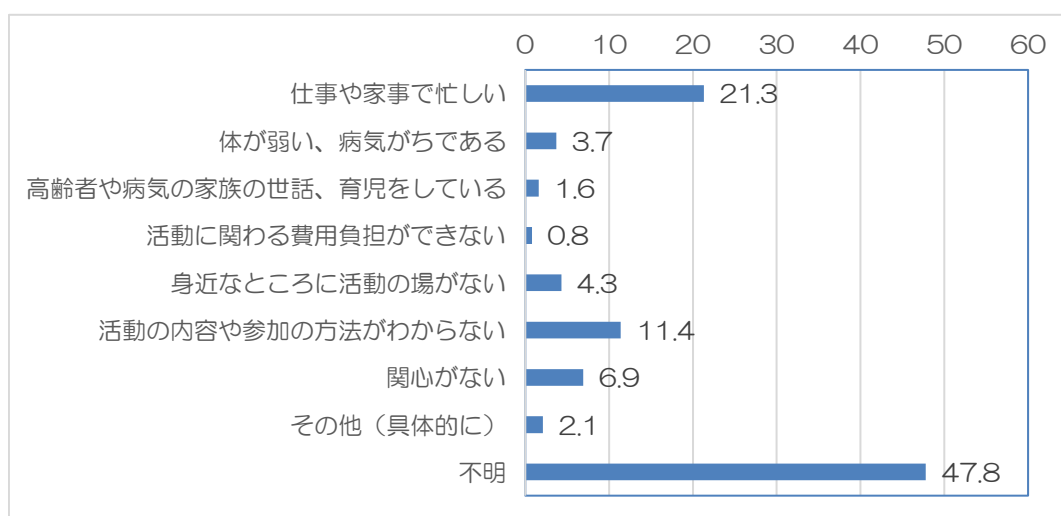
○必要な事柄が掲載されているが最も多いが、一方でネガティブ意見も相当数存在する。

**問25 あなたは、どのようなボランティア活動をしてきましたか。
(あてはまるものすべてに○)**



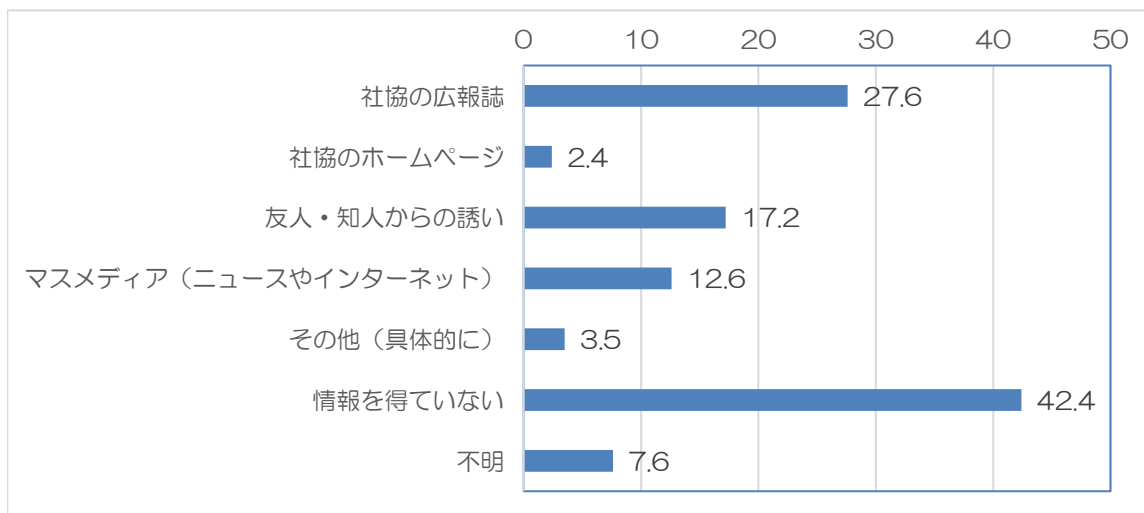
○活動をしたことがない、が多いものの、自治会活動には積極的に関わっていることがうかがえる。

**問26 ボランティア活動に参加したことがない理由は何ですか。
(最もあてはまるもの1つに○)**



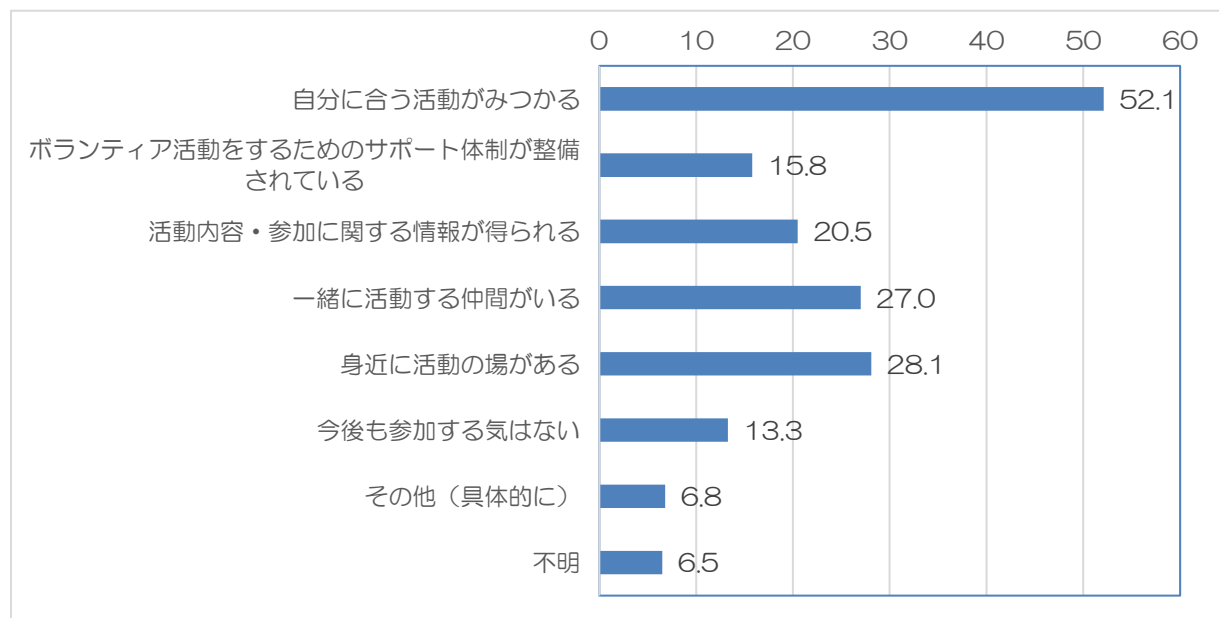
○仕事や家事で忙しいが最も多い。不明に「その他具体的意見」も内包されると推察する。

問27 あなたは、ボランティアの情報をどのように得ていますか。
(あてはまるものすべてに○)



○社協の広報誌から得る場合が多いが、情報そのものが得られていないと感じられるケースも多い。

問28 あなたは、どのような条件があればボランティア活動に参加しますか。
(あてはまるものすべてに○)



○自分に合う活動が見つかる、活動の場がある等、が大半を占めるが、何かのきっかけも必要であると感じている。